

日本人は、高校・大学に入れない時代へ

西日本では大変人気のマンモス校、福岡大学が現在、外国人留学生が3割という話です。これから日本の全ての高校・大学で、外国人留学生8割、9割、10割という状況になるでしょう。例えば中国が13.5億人であり、日本の灘、開成などの生徒と同レベル以上の生徒もまた、日本の10倍以上います。それゆえ日本の東大などより、中国などの大学はレベルが高いのです。その彼らがなぜ、「仕方ない、東大で我慢してやるか!」と言って、日本の大学に殺到するようになったのかと言うと、いくつか理由があります。

一つ目は、日本の塾予備校がネットで全世界に授業を配信するようになった事です。日本のネット授業で最大手の東進衛星予備校の授業を韓国で流している風景をテレビでやっていました。日本の学生が同じネット授業を受けても、外国人留学生に負けるのはそういう理由です。ネット授業の氾濫により、世界中の受験生が日本の高校・大学に入りやすくなりました。動画を複製して、タダで日本のネット授業を共有しているでしょう。

二つ目に、日本の少子化による人手不足で、外国人留学生の労働を緩和する動きがあります。福岡県でも、この前発表されました。外国人は働く目的で、日本の大学に入ります。

三つ目は、PM2.5の問題です。今は大陸での育児は「児童虐待」と言われており、小中学生の内から、日本に移住して高校受験などをします。仕方なく、日本に移住しています。

四つ目は、ブランド価値です。無名の高校が東大に何人も合格させた事がありましたね。それらは全て外国人留学生だったというオチでした。外国人を高校に受け入れると、合格実績が出ます。相撲を見てもわかるように、日本人では横綱にはなれない時代です。

五つ目は、日本人より偏差値の低い外国人を合格させる高校・大学のありようです。詳しく書くと、悪徳な学校がマネするのでぼかしますが、彼らは日本語と英語がペラペラな上に、母国語まで話します。つまり、偏差値が低くても日本の戦力になりますから、偏差値の高い日本人を不合格にしても、外国人を獲得する事に、日本の学校は力を入れますね。他にもたくさんありますが、医学部や東大・京大・早慶上智は全て、外国人留学生で埋め尽くされるのも、時間の問題です。

日本人が医者や官僚などになるのは難しい時代になってくるでしょう。中国人旅行者を見ても、有名なラーメン屋などに行列を作りたがります。ブランド大好きなお国柄ですから、医者になるわけでもなく、「偏差値が高いから」という理由で、医学部を受験します。公務員と違い、医者にはなりやすい日本だからですね。

日本の高校や大学の定員を全て、外国人留学生で埋め尽くすために、日本全国の塾や予備校が死力をつくしていますね。塾や予備校に行くと「外国人ばかりだ」とよく言われます。外国にもたくさん校舎を出して、日本へ連れてきています。もはや、日本人を教えるだけでも、合格実績が出ないのです。高校や大学も、日本人を減らして外国人を増やします。

久留米自習室では、久留米附設の生徒ですら今のFランク大学にも合格できなくなる時代へ向けて、研究しています。大手のように、外国まで手をのばせませんから。この前、韓国の若者の答案を採点しましたが、ハングル育ちのためか漢字が弱いですね。漢字で合否が決まる大学なら日本人でも狙えるかなと研究中です。戦略で差をつけるしかないです!